

## 一般社団法人山口県医師会平成26年度第12回理事会

平成26年9月18日(木) 午後5時～午後7時39分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・今村常任理事、沖中・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

### 協議事項

#### 1 母体保護法指定医師研修会について

「母体保護法指定医師の指定基準」の改正に伴い、指定医師の新規並びに更新申請の際に受講が必須条件となった「母体保護法指定医師研修会」の実施要領について協議を行い、了承された。今年度は、新指定基準の施行開始年度であることから、11月16日、2月1日、3月1日の3回実施し、来年度からは、年2回の実施にする予定。

#### 2 個別指導に関する対応について

へき地医療に対して実施される個別指導のあり方等について協議を行った。今後、対象となった地域の医師会、行政等と協議し、へき地医療の保険診療について研究を行うこととした。

#### 3 水痘及び高齢者の肺炎球菌感染症に係る予防接種後健康状況調査事業の実施機関の推薦について

国が実施する予防接種後健康状況調査事業において、本年10月1日から定期の予防接種の対象疾病に追加されることとなった水痘及び高齢者の肺炎球菌感染症についても調査が実施されることになった。山口県から予防接種後健康状況調査実施医療機関の推薦依頼があり、2医療機関を推薦することが決定した。

#### 4 第12回日本介護学会における後援名義使用について

公益社団法人日本介護福祉士会並びに日本介護学会より、10月10～11日に山口市において開催の標記学会の名義後援について依頼があり、了承された。

#### 5 外国債の期限前償還について

2008年購入の外国債で運用している債権が本年9月に期限前償還となったこと及び取得利息額の報告が行われ、償還に伴う資金運用については、今後協議することが決定した。

#### 6 山口県在宅医療推進協議会について

山口県は今年度、多職種連携による在宅医療支援体制の構築を図るとともに、在宅医療推進のあり方等について協議・検討を行うことを目的に、山口県在宅医療推進協議会を設置することとした。本会へ構成団体としての参画要請があり、了承した。

## 人事事項

- 1 山口県在宅医療推進協議会の委員について  
河村専務理事を推薦することが決定した。

## 報告事項

- 1 第 32 回介護保険対策委員会（9 月 4 日）  
次期（第五次）やまぐち高齢者プラン及び新たな財政支援制度等について報告・協議を行った。（河村）
- 2 郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当事業協議会・関係者合同会議（9 月 4 日）  
会議に先立ち、濱本副会長の開会挨拶において広域予防接種事業の経緯説明を行った。山口県健康増進課からは、予防接種法の改正、子宮頸がん予防ワクチンのリーフレット、4 種混合ワクチン、麻しん予防接種率について報告が行われ、10 月から新たに定期の予防接種に追加される水痘と高齢者の肺炎球菌ワクチン、平成 27 年度の広域予防接種個別接種料金について協議した。（藤本）
- 3 第 1 回山口県いじめ問題調査委員会（9 月 4 日）  
山口県はいじめ問題の現状と課題・取組み等について報告があり、いじめの重大事態に係る対応等について協議した。（藤本）
- 4 第 13 回地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（9 月 5 日）  
委員長選出後、第 2 期中期目標の事業計画説明が行われた。（小田）
- 5 第 133 回山口県医師会生涯研修セミナー（9 月 7 日）  
午前中は、山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学分野の寺井崇二准教授による「非アルコール性脂肪肝炎の病態と対策－メダカ、マウス、ヒトの解析より－」、山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学分野の岡村誉之助教による「重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植え込み術の経験」のミニレクチャー 2 題と岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学の藤原俊義教授による特別講演「消化器がん治療の最前線：低侵襲治療と個別化医療」が行われた。午後は、鹿児島大学の川平和美名誉教授による「片麻痺リハの最前線：促通反復療法と併用療法の理論と治療成績」、山口大学大学院医学系研究科小児科学分野の大賀正一教授による「血栓症と血栓性素因～小児から成人まで～」の特別講演 2 題が行われた。医師、薬剤師等 77 名出席。（今村）
- 6 勤務医部会第 1 回医師事務作業補助者連絡協議会（9 月 7 日）  
県内 7 病院の医師事務作業補助者により、各病院における勤務状況及び業務内容等について情報交換後、協議会の運営方法、医師事務作業補助者のスキルアップ研修計画等について協議を行った。（加藤）

7 第1回がん検診受診促進検討会議（9月10日）

平成25年度の事業（県民意識調査、事業所調査、受診勧奨モデル事業、未受診者調査、検診受診促進に向けた支援制度等の実績）の報告に続いて県内のがん検診の状況、効果的な受診勧奨策の推進について協議を行った。（加藤）

8 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（9月10日）

厚生労働省に提出した、支払基金の業務範囲を含む制度等の見直しに関する要望、第7次審査情報提供（歯科）等について報告が行われた。（小田）

9 社保・国保審査委員合同協議会（9月11日）

協議題3題、会員からの意見要望26項目について協議を行った。協議結果は本会報11月号（ブルーページ）に掲載予定。（萬、清水）

10 山口県緩和ケア医師研修会連絡会議（9月11日）

山口県地域医療推進室から緩和ケア研修の実施状況の報告後、昨年度受講者のアンケート集計結果報告及び9月21・23日に開催する緩和ケア医師研修会の運営について確認した。（弘山）

11 山口県高齢者保健福祉推進会議（9月11日）

第五次やまぐち高齢者プラン（平成27～29年度）の策定について協議し、フレーム案の検討を行った。（河村）

12 個別指導「萩市」（9月12日）

病院1機関について実施され、立ち会った。（萬、清水）

13 山口県医師会産業医研修会（9月13日）

山口労働局健康安全課の田中俊明課長による特別講演「労働衛生行政の動向について」、広島市の友和クリニックの宇土博院長による特別講演「介護職場における腰痛予防と治療－参加型の人間工学的改善－」及び体験学習型の実技指導が行われた。受講者138名。（藤本）

14 第4回山口県糖尿病療養指導士講習会（9月14日）

「糖尿病足病変とフットケア」、「糖尿病患者の心理と行動」、「患者の教育、療養指導の評価」の3題の講義後、修了認定試験を行い、受験者は180名であった。その後、山口県糖尿病療養指導士講習会の修了式を執り行った。（弘山）

15 日本医師会第7回理事会（9月16日）

日本医師会年金運用体制の見直し、平成26年度外部監査人報酬等について協議を行った。（小田）

## 16 第1回都道府県医師会長協議会（9月16日）

今回は、都道府県医師会からの協議事項を募集せずに、病床機能報告制度と地域医療ビジョン及び消費税の2題の議題に絞って意見交換が行われた。（吉本）

## 17 山口県衛生検査所精度管理専門委員会（9月16日）

平成25年度に立入検査を行った7検査所の改善報告、平成26年度外部精度管理調査（オープン調査）の実施等について協議を行った。（加藤）

## 医師国保理事会 第8回

### 1 全医連第52回全体協議会について（9月12日）

青森県医師国保組合の担当で青森市において開催された。代表者会では平成25年度事業報告・決算等の承認、全体協議会の運営等について協議した。全体協議会では、代表者会の結果報告等があり、現行の国庫補助水準の確保等を要望する決議を行った。次に、前・内閣官房社会保障改革担当室の中村秀一室長による講演「社会保障改革の動向とこれからの医療・介護」及び登山家の根深 誠氏による特別講演「世界自然遺産 白神山地の昔と今を語る」が行われた。（小田、沖中）

### 2 第13回「学びながらのウォーキング」大会について

11月23日（日・祝）に防府市で開催する大会の特別講演の講師及びウォーキングコースについて協議、決定した。